

(参考様式4)

事業所名 グループホーム藤城の家

作成日: 令和 7 年 1 月 20 日



目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	46	普段の生活において、ご利用者が力を発揮できるような支援をすること。	家事やレクリエーションにご利用者が取り組むことの支援をする。出来ることが少なく思える方についても何が出来るのか探り試行錯誤してみる。	簡単なおやつを手作りする機会を増やして、ご利用者に参加してもらう機会を増やす。少しのことで、ケアプランにも上げているご利用者が家事をすることの支援やレクリエーションを充実させるように意識して取り組む。	6ヶ月
2	40	コロナ禍の制限が徐々に緩和されているなかで、外出の機会も少しずつ増えてきた。外出や食事などご利用者の希望を叶える支援をさらに充実させたい。	ご本人の希望を実現する食事のレクリエーションや外出を企画・実施する。また散歩やドライブ、買い物など、気軽に外出できるように意識する。	食事や外出について、ご本人の要望を聞き実現する。話される言葉のなかから、もともとお住まいだった場所や思い出の場所について注意深く聴くことで思いを探り、外出の企画につなげる。	6ヶ月
3	17	コロナ禍の影響で、ご家族にサービス担当者会議に参加していただけていない。	サービス担当者会議(ケアプランカンファレンス)にご家族に参加していただき、ご利用者の様子や支援内容について共有する。ご利用者、ご家族の生活に対する思いを多くの職員が直接お聞きできる機会とする。	(ケアプラン更新のタイミングを目安にして)毎月お一人についてサービス担当者会議を開催し、ご家族に呼びかけて参加していただく機会を作る。	12ヶ月
4	9	利用者に運営推進会議に参加していただくことができた。ただし、利用者の意見、要望を十分に聞く機会をもうけて支援することができていない。	利用者に運営推進会議に参加してもらうなかで、利用者の意見を引き出せるような支援をする。	運営推進会議において、利用者に生活の満足度や困りごとについて職員が尋ねるようにする。他の会議参加者の質問を伝えるなどしてコミュニケーションの支援をする。	12ヶ月
5		サービス評価の個別票に沿ってご利用者の生活、サービスを振り返ることが不十分である。	定期的に個別票に沿ってご本人の暮らしを振り返る。	グループホーム会議やケアカンファレンスなどで議題に取り上げて、ひと月にお一人ずつ個別票に取り組み、ご本人の暮らしとサービスを振り返る。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。